

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、此の度、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [9930] *IGH*(免疫グロブリンH鎖) 遺伝子再構成 《PCR法》
- [9931] *IGK*(免疫グロブリンL鎖) 遺伝子再構成 《PCR法》
- [9932] *IGL*(免疫グロブリンL鎖) 遺伝子再構成 《PCR法》
- [9933] *TRB*(T細胞受容体鎖) 遺伝子再構成 《PCR法》
- [9934] *TRG*(T細胞受容体鎖) 遺伝子再構成 《PCR法》
- [9935] *TRD*(T細胞受容体鎖) 遺伝子再構成 《PCR法》

受託開始日

平成18年10月2日(月)

免疫関連遺伝子再構成《PCR法》

免疫機能を担っているリンパ球は、その分化・成熟過程で免疫関連遺伝子の再構成を伴うことが知られています。この特性を生かし悪性リンパ腫、リンパ性白血病において腫瘍細胞のクロナリティ(細胞系統)を判定することが可能です。腫瘍細胞のクロナリティを判定することは、病型の診断・鑑別、治療効果の確認に有効な情報を提供します。

今般、既に諸外国で広く用いられているPCR法による免疫グロブリン(Ig)遺伝子、T細胞受容体(TCR)遺伝子の再構成解析を開始致します。本検査は、IVS(*InVivoScribe Technologies*)社製のキットを使用し、PCR法により標的遺伝子を増幅し、キャピラリー電気泳動法にてPCR産物を検出するものです。

検査手技の煩雑なサザンブロット法と比較して所要日数を短縮でき、また少量の検体でも検出が可能となります。

検査要項

【各項目共通】

検査方法	PCR・キャピラリー電気泳動法
検体量/保存	ヘパリン(またはEDTA)加血液 3mL/冷蔵(4) 骨髄液(保存液入り容器) 1mL/冷蔵(4) 組織(滅菌スピッツ管) 0.2g/深冷凍結(-70)
基準値	再構成を認めない
所要日数	6～10日
定価	35,000円
実施料	2,400点(「D006-6」免疫関連遺伝子再構成)
判断料	135点(血液学的検査判断料)
備考	悪性リンパ腫、急性リンパ性白血病又は慢性リンパ性白血病の診断の目的で行った場合に、6月に1回を限度として算定できます。 区分「D004」の「13」悪性腫瘍遺伝子検査、区分「D006-2」血液細胞核酸増幅同定検査(造血器腫瘍核酸増幅同定検査)又は区分「D006-6」免疫関連遺伝子再構成のうちいずれかを同一月中に併せて行った場合には、主たるもののみ算定となります。

本検査は、IVS(*InVivoScribe Technologies*)社とのライセンス契約に基づいて実施しております。

検査方法参考文献

JJM van Dongen.et al. : Leukemia 17 : 2257-2317, 2003.

【サザンプロット法と対応する遺伝子再構成】

PCR 法		サザンプロット法	
コード	検査項目名 ¹	コード	検査項目名
9930	<i>IGH</i> (免疫グロブリンH鎖)遺伝子再構成	8557	免疫グロブリンH鎖J _H 再構成
9931	<i>IGK</i> (免疫グロブリンL鎖)遺伝子再構成	8558	免疫グロブリンL鎖J 再構成
9932	<i>IGL</i> (免疫グロブリンL鎖)遺伝子再構成	8559	免疫グロブリンL鎖J 再構成
9933	<i>TRB</i> (T細胞受容体 鎖)遺伝子再構成 ²	8555	T細胞受容体 鎖C 領域再構成
		6871	T細胞受容体 鎖J 1領域再構成
		6872	T細胞受容体 鎖J 2領域再構成
9934	<i>TRG</i> (T細胞受容体 鎖)遺伝子再構成	8556	T細胞受容体 鎖J 領域再構成
9935	<i>TRD</i> (T細胞受容体 鎖)遺伝子再構成	8773	T細胞受容体 鎖J 1領域再構成

* 1: PCR法の遺伝子名はThe Human Genome Organisation Gene Nomenclature Committee (HGNC)が規定した略称に準拠しています。

* 2: PCR法によるTRB遺伝子再構成はサザンプロット法でのC、J₁、J₂の領域を網羅しております。

【検出領域】

下表の領域における遺伝子再構成をそれぞれ検出します。

検査項目名	検出領域
<i>IGH</i> (免疫グロブリンH鎖) 遺伝子再構成	VH(FR1)/JH
	VH(FR2)/JH
	VH(FR3)/JH
	DH1-7/JH
<i>IGK</i> (免疫グロブリンL鎖)遺伝子再構成	V /J
	V /Kde
	J -C intron/Kde
<i>IGL</i> (免疫グロブリンL鎖)遺伝子再構成	V /J
<i>TRB</i> (T細胞受容体 鎖)遺伝子再構成	V /J 1,2
	D /J
<i>TRG</i> (T細胞受容体 鎖)遺伝子再構成	V /J
<i>TRD</i> (T細胞受容体 鎖)遺伝子再構成	V /J
	D 2/J
	D 2/D 3
	V /D 3

検査報告書見本

(85%に縮小)

MBC
三菱化学ビーシーエル

遺伝子解析検査報告書

報告日 年 月 日
受付日 年 月 日
保存No. _____
ID 1 _____
採取日 年 月 日

施設名 様
氏名 様
科名 担当医 先生
病棟 材料

カルテ No. 患者ID 性別 年齢 才 担当者
検査項目 **IGH(免疫グロブリンH鎖)遺伝子再構成 PCR法** 責任者 山森

【検査結果】 再構成を認める

<下記5領域のうち1種類以上陽性だった場合「再構成を認める」と判定いたします。>

VH(FR1)/JH	VH(FR2)/JH	VH(FR3)/JH	DH1-6/JH	DH7/JH
+	+	+	+	-

+:陽性
-:陰性

【方法】

DNA抽出 → PCR → キャピラリー電気泳動 → 結果判定

* 本検査はInVivoScribe Technology社とのライセンス契約に基づき実施しております。

お問合せ先 株式会社三菱化学ビーシーエル 〒174-8555 東京都板橋区志村 3-30-1 遺伝子検査部 遺伝子検査グループ
TEL : 03(5994)2496 FAX : 03(5994)2973